



政府統計

報道関係者 各位

平成25年8月8日

【照会先】

大臣官房統計情報部 雇用・賃金福祉統計課

課長 久古谷 敏行

統計専門官 川野邊 智子

雇用第一係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7616)

(直通電話) 03-3595-3145

平成24年「雇用動向調査」の結果

～入職率14.8%、離職率14.8%で、ともに前年より上昇～

厚生労働省では、このほど、平成24年「雇用動向調査」の結果を取りまとめましたので、公表します。

「雇用動向調査」は、全国の主要産業の事業所における入職、離職の状況、産業別、職業別状況のほか、入・離職者の性・年齢別、離職理由別にみた状況を明らかにすることを目的に実施しています。

調査時期は上半期調査と下半期調査の年2回で、今回の結果はこの2回の調査結果を合算して年計として取りまとめたものです。

なお、今回公表する調査の結果は、5人以上の常用労働者を雇用する事業所から14,410事業所を抽出して行い、9,775事業所（上半期）と9,691事業所（下半期）から有効回答を得ました。回答を得た事業所の入職者88,239人、離職者95,946人についても集計しています。

【調査結果のポイント】

1 入職率、離職率

入職率^{※1}は14.8%で前年（14.2%）より0.6ポイント上昇、離職率^{※2}は14.8%で前年（14.4%）より0.4ポイント上昇した。その結果、延べ労働移動率（入職率＋離職率）は29.6%（前年28.6%）となった。（5ページ 図2、17ページ 附属統計表1-2）

※1 年初の常用労働者数に対する、入職者数の割合

※2 年初の常用労働者数に対する、離職者数の割合

2 離職理由別離職率

離職理由別の離職率は、結婚、出産・育児、介護などによる「個人的理由」が10.3%で前年（9.8%）より0.5ポイント上昇した。また、経営上の都合、出向、出向元への復帰を含む「事業所側の理由」は1.0%（前年1.2%）で0.2ポイント低下した。（7ページ 図4）

3 転職入職者の賃金変動状況

転職した後の賃金が前職に比べ「増加」した人は32.3%で、前年（28.5%）より3.8ポイント上昇した。「減少」は30.4%（前年32.0%）で1.6ポイント低下した。（14ページ 表5）